

大阪市内のターミナル駅常設は大手私鉄で初めて！

南海難波駅が入る南海ビルに「ドライミスト」を設置します

7月23日の噴霧式より運転を開始！！

暑～い大阪の夏に！快適な“涼”を提供します

南海電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：亘 信二）と南海都市創造株式会社（本社：大阪市中央区、社長：廣田昌紀）では、南海難波駅などが入る南海ビル1階「総合インフォメーションセンターなんば」前に、省エネルギー型の外気冷却システム「ドライミスト」を導入し、平成21年7月23日（木）から自動制御運転を開始します。環境に優しい「ドライミスト」の噴霧で、当社施設をご利用のお客さまに、暑い夏を涼しく快適に過ごしていただきます。

なお、大阪市内のターミナル駅に「ドライミスト」を常設するのは、大手私鉄で初めてです。



「ドライミスト」は、ベタツキを感じない程度の霧（ミスト）を人工的に作り出し、霧が蒸発する際に、周囲の熱を奪う気化熱を利用した環境にやさしい冷房装置です。

従来のクーラーと比べて、約1℃の気温を低下させるためのエネルギー消費量は20分の1、CO₂排出量は8分の1になると言われています。

ドライミスト噴霧風景（イメージ）

【 噴霧式（テープカット）を開催 】 くいだおれ太郎が「ドライミスト」の涼しさをPR！

運転開始日10時30分から「噴霧式」を開催します。亘 信二南海電気鉄道取締役社長兼COO、廣田昌紀南海都市創造社長、篠丸康夫大阪ビルディング協会会長とともに、大阪・ミナミを象徴する「くいだおれ太郎」によるテープカットを行い、「ドライミスト」の運転を開始します。



快適でんな
あ～（予定）

1. 運転期間

平成21年7月23日（木）から約3カ月間 ※毎年夏季に運転する予定です。

2. 自動制御運転による噴霧時間および噴霧条件

9時00分～18時00分までの時間帯に、「ドライミスト」の自動制御システムが、周囲の湿度・温度を感知し、下記の噴霧開始条件を満たした際に運転を行います。

また、噴霧開始前は音声（日本語・英語）で案内します。

(1) 噴霧開始条件

	噴霧開始条件
気温	27度以上
湿度	70%以下

(2) 音声案内

①日本語【ただいまより、ドライミストを噴霧します】

②英語【We will spray dry mist from now】

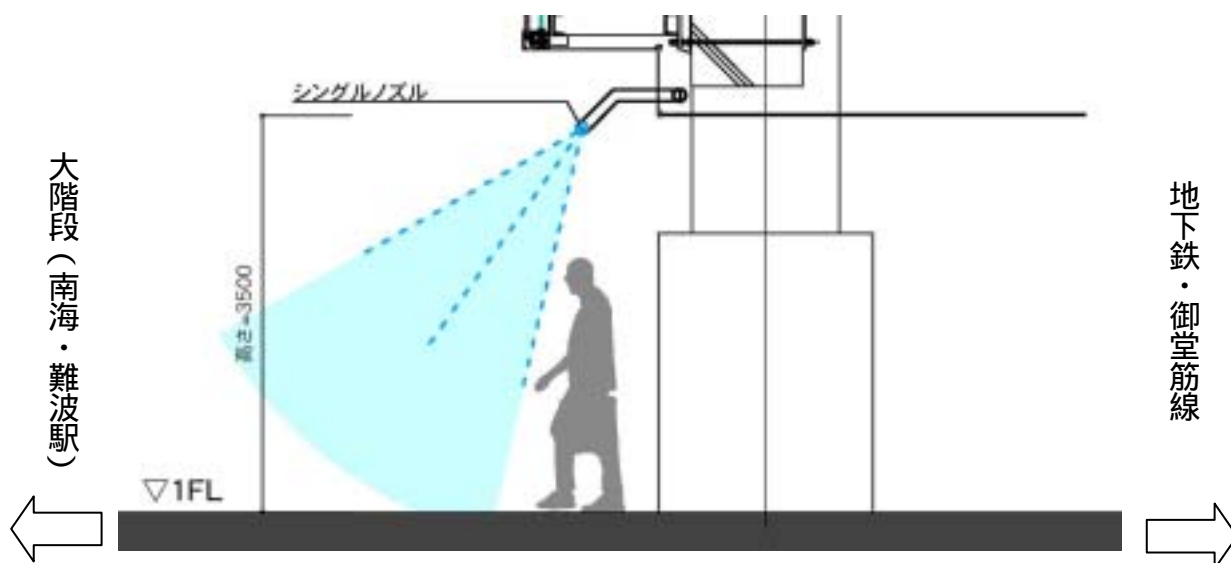
※①、②、①の順に流れます。

3. 設置場所

南海ビル1階「総合インフォメーションセンターなんば」前

※天井（地表からの高さ約3.5m）に、ドライミストノズル25個を約1m間隔で約2.5mにわたって設置します。

※ノズル1つにつき、冷却範囲は2～3mで、約2～3度の気温低下が見込まれます。



4. 噴霧式について

(1) 開催日時

7月23日(木) 10時30分から(約15分間)

(2) 開催場所

南海ビル1階「総合インフォメーションセンターなんば」前

(3) 出席者

① 亙 信二南海電気鉄道取締役社長兼COO

② 廣田昌紀南海都市創造社長

③ 篠丸康夫大阪ビルディング協会会長

④ 「くいだおれ太郎」

※「くいだおれ太郎」は、「暑うおまんな〜…(予定)」と書かれた吹き出し付きで登場します。

(4) 内容

出席者全員によるテープカットを合図に、ドライミストを噴霧します。

※ドライミストを浴びた「くいだおれ太郎」は、吹き出しが「快適でんなあ〜(予定)」に変わり、「ドライミスト」の涼しさをPRします。

※イベント終了後に、出席者全員によるフォトセッションの場を設けています。

5. 導入目的

当社グループでは、南海ビルを中心とした南海ターミナル再生計画を進行しています。また、昨年度を初年度とする新3か年経営計画「堅進126計画」を策定し、その基本方針のひとつに「『環境保全』のための取組み強化」を掲げて、各種環境活動を推進しています。同設備の導入は、これら取組みの一環であり、お客さまに当社施設を快適に過ごしていただくだけでなく、環境保全への意識を高めてもらうことも狙いとしています。

6. その他

同設備の導入は、「地球温暖化防止のための社会的使命」を事業目的の1つに掲げている社団法人大阪ビルディング協会から、創立80周年記念事業として協賛を得ています。また、同協会の賛助会員である能美防災株式会社の協力を得ています。

【参考】南海ターミナルビル再生計画について

当社グループでは、平成19年10月から、南海難波駅や高島屋大阪店が入る「南海ビル」や南海電鉄本社の「南海会館ビル」、「なんばCITY」、「スイスホテル南海大阪」などから構成される南海ターミナルビルの再生計画を進行しています。

以上

南海ビル周辺地図



南海ビル1階「ドライミスト」設置場所

